

2010年3月9日

長良川河口堰のゲートの試験開放を求める要請書

国土交通大臣 前原 誠司 様

長良川市民学習会 代表 粕谷 志郎

日ごろのご活躍、お慶び申し上げます。

長良川河口堰は、無駄な公共事業の象徴的存在として衆目を集めてきました。

今年、岐阜県は「全国豊かな海づくり大会 ぎふ長良川大会」を開催します。また名古屋で、重要な国際会議である生物多様性COP10が開催されます。河口堰によって海と川との繋がりが断ち切れ、生態系が大きく変えられてきてしまった長良川の現状に目を瞑ったまま、「森・川・海の繋がり」「生物多様性」を語って良いものでしょうか？

2月初頭に投開票があった岐阜市長選の候補者アンケートでも、全候補者が長良川河口堰の開放（試験的開放を含む）に肯定的でした。長良川を愛する沿川住民の多くの声は、長良川河口堰を憂い、ゲート開放を求めています（別添資料参照）。

河口堰の建設目的である「塩害防止の潮止め」「淡水の利用」の両方につき疑念がもたれています。真に必要なのか、代替措置はないのか、改めて検討すべきときです。

まずは可及的速やかに長良川河口堰ゲートを試験開放を実施されたく、要請します。

記

1. 河口堰のゲートを開放し、環境への影響のモニタリングを開始すること。
開放の方法と時期は、下記の組み合わせにより、完全開放へ段階的に進める。

- 1) 開放の方法

1. 引き潮時のみの開放
2. 上げ潮時の潜り堰
3. 上記1.と2.の併用
4. 全開放

- 2) 開放の時期

1. 優先時期の開放
鮎、サツキマスの遡上と降下の時期
2. 常時開放

2. 知多半島地域への長良川河口堰にかかわる導水を、水道水源にふさわしい水質の木曾川大堰からの導水に戻すこと。あわせて塩水遡上対策として長良川河口堰にかかわる北伊勢工業用水道の水源を木曾川大堰に切り替えられるようにすること。

以上。

連絡先:長良川市民学習会 事務局長 武藤仁 090-1284-1298
〒500-8211 岐阜市日野東7-11-1

長良川を守るためのアンケート結果について

(岐阜市長選挙予定立候補者アンケート)

長良川市民学習会

(「長良川に徳山ダムの水はいらない」市民学習会実行委員会)

事務局長 武藤 仁 (090-1284-1298)

市政記者クラブのみなさま

投票日が2月7日の岐阜市長選挙に向け、長良川市民学習会は標記のアンケートを立候補予定者に対し行い回答を得ましたので結果を公表します。是非ひろく市民に報道してください。なお、以下に報告する3名の他に立候補を予定されている情報はありましたが、連絡方法が確認できずその方に対するアンケート送付は断念しました。

(各予定候補者に送付しましたアンケートの様式は末尾に付けました。)

1 木曾川水系連絡導水路による長良川への放流について

- (1) 環境改善に役立ち歓迎する。 と答えた予定候補者はありませんでした。
- (2) 環境悪化が懸念され、放流は認めない。 と回答したのは、大西さんでした。
- (3) 環境への影響などを十分に調査・検討し、慎重に決めていくべきである。
と回答したのは、細江さんでした。
- (4) その他 「放流しない方向で市民コンセンサスをつくりたい」「事業の見直しを図るべき」 と回答したのは、浅野さんでした。

2 長良川河口堰のゲート開放について

- (1) 長良川河口堰は必要なものであり、ゲート開放は求めない。
と答えた予定候補者は、ありませんでした。
- (2) 長良川の環境改善のためにゲート開放を求める。と回答したのは、大西さんでした。
- (3) 試験的ゲート開放を実施し、水利用・塩害等への影響調査を行ってみるべきである。
と回答したのは、細江さんでした。
- (4) その他 「ゲート開放を求める」「試験的ゲート開放を実施し、水利用・塩害等への影響調査を行ってみるべきである。」と回答したのは、浅野さんでした。

明日へ 2.7 岐阜市長選

異常渾水時、揖斐川町の徳山ダムの水を長良川や木曾川に放流する木曾川水系連絡導水路事業の推進について、来月7日投票の岐阜市長選挙に出馬予定の3

市民団体が3氏に聞く

氏がいずれも反対か慎重な見解を持っていることが27日、市民団体「長良川市民学習会」のアンケートで分かった。

(竹田佳彦)

導水路事業

いずれも反対か慎重論

対象は二期目を指す現職の細江茂光氏(公)と会社社長浅野真氏(西)、元教諭大西隆博氏(西)の3氏。長良川への放流について「環境改善に役立ち歓迎する」と答えた人はなく、大西氏が「悪化が懸念され、放流は認めない」。浅野氏は「事業見直しを

図るべきだ」、細江氏も「影響を十分に調査・検討し、慎重に決めていくべきだ」とを表明した名古屋市の回答し、いずれも反対か慎重な姿勢を示し、一事業に反対する

細江氏 影響を調査し検討
浅野氏 事業の見直し図れ
大西氏 悪化懸念、放流ため

河村氏は反対表明を

会武藤仁事務局長は「事業主体は水資源機構だが、岐阜市の土地を通過して長良川に放流するため、実際の影響を受ける」と指

摘。「当選後の新市長の発言を注視していく」と話している。アンケートでは、長良川河口堰についても

結果を公表した。同団体は市民などをつくるグループで、計画の当面白紙化を求めている。

徳山ダムの水を長良川に放流する計画について、3期目を指す現職の細江茂光氏(61)は「環境への影響などを十分に調査・検討し、慎重に決めていくべき」の回答を返答、新人で経営コンサルタンの浅野真氏(41)は「環境の影響を十分に調査・検討し、放流しない方向で市民のコンセンサスをつくりたい」と答えた。新人で元市立中学校教諭の大西隆博氏(44)は「環境悪化が懸念され、放流は認めない」を選択した。2010/2/28 岐阜



導水路問題で市民団体アンケート

立候補予定者に

徳山ダム(揖斐川町)の水を長良川を経由して木曾川に流す「木曾川水系連絡導水路事業

業について、市民団体の長良川市民学習会は27日、岐阜市長選(31日告示、2月7日投票)の立候補予定者に対して行ったアンケートの結果を公表した。同学習会は「長良川に徳山ダムの水はいらない」として、木曾川水系連絡導水路事業に反対する立場から、市長選立候補予定者のうち現職、細江茂光氏(61)▽新人のコンサル

ティンク会社経営、浅野真氏(41)▽新人の元市立中学校教諭、大西隆博氏(44)の3氏にアンケートを実施したという。同学習会によると、導水路事業が実施されると長良川へ放流されることについて、細江氏は「環境への影響などを十分に調査・検討し、慎重に決めていくべきだ」と回答。浅野氏は「放流しない方向

で市民コンセンサスを行ってみたい。事業の見直しを図るべきだ」と回答した。大西氏は「環境悪化が懸念され、放流は認めない」とした。長良川河口堰のゲートを開放することの適否については、細江氏は「試験的ゲート開放を実施し、水利用・塩害などへの影響調査を

同会の武藤仁事務局長は「長良川は岐阜市の象徴。立候補予定者と市民が川についても一度考えるきっかけになってほしい」と話した。【石山絵歩】

木曾川導水路計画アンケート結果を公表 市民団体

住民団体「長良川市民学習会」(粕谷志郎代表)は、岐阜市長選の立候補予定者3人に、木曾川水系連絡導水路計画に関してアンケートを行い、その

結果を公表した。同団体は市民などをつくるグループで、計画の当面白紙化を求めている。



岐阜支社
〒500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267
多治見支局
0572(22)3121
Fax(23)5331
大垣支局
0584(78)2030
Fax(74)6460
高山支局
0577(32)0350
Fax(34)5215
関支局
0575(22)3234
Fax(24)3939
中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052(221)0800
Fax(221)0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

条件に細江氏陣営の応援に訪れる計画もあったが、細江氏側が難色を示し実現しなかった。細江氏は「国の調査や協議を見守りたい」と話している。

同事業は総事業費八百九十億円を国と愛知、岐阜、三重の三県、名古屋が分担する計画で、民主党政権

はダム事業見直しの一環で導水路事業も凍結し、今夏以降に建設の是非を再検証すること

を決定している。良川河口堰についても「事業主体は水資源機構だが、岐阜市の土地を通過して長良川に放流するため、実際の影響を受ける」と指